

報告書

2640 地区 第二次災害支援物資輸送

3月21日

PM3時より、G車に岩崎氏、田原春氏、猿田でガソリン給油、荷物の積み込み。

荷物：線香1ケース、タオル6ケース3600枚、歯ブラシ6ケース6000本

(堺北西南西RC)

毛布3ケース(富田林RC、御坊RC)

3月22日

AM6時頃、出発。

- ・浜名湖Pで九州方面の車30台の消防隊と出会う。
 - ・三重県ナンバーのGより小さいワンボックスカーで、窓には「医薬品支援物資」の手書きのステッカーを貼った車と出会う。
 - ・中村研修リーダーと数回電話で連絡を取る。
- その他岩崎氏(北西南西会長)、間宮氏(おおいずみ)、京谷氏(フェニックス)

中村氏より、PM4時まで停電なので、それ以降に来る様にとの指示が入る。

2770地区ガバナー、井橋氏の会社にPM4:30着

2820地区ガバナー、山崎氏に引き渡す。車2台で来ていたロータリアン数名の手伝いで、荷物を積み変える。井橋ガバナーより、ガソリンの提供を受ける。夜、井橋氏、RI、研修リーダー中村氏と共に夕食。夕食中に地震を感じる。

3月23日

朝より、現地(埼玉、茨城方面)の、東京の市場に行きにくい同業者宅を見舞い、東京の市場まで同乗してもらう。

同業者宅で朝2度の大きな地震を感じる。(毎日のようにあるので、慣れたようだ。)

3月24日

下谷神社の宮司の働きに共感。

毎月仕事で行っている東京上野の下谷神社に朝、通常通りに行くと、災害支援物資の受付を行っていた。地震後、宮城県に何度となく物資を輸送しているという話を聞いた。

私の業界(刀剣)で数十年前より下谷神社の会館を借りて刀剣の市場を開いてい

るが、今まで宮司さんがロータリアンとは知らずにいた。
偶然にも、彼は神社庁のネットワークを通して支援活動をしていたことに感動し、今後我々のロータリーのネットワークも緊急時、上手に機能したいものだと感じた。

私も荷降残した水を寄付してきた。

3月26日

PM10時東京出発。

翌、AM8時堺着、無事帰宅。

走行距離 1300km、ガソリン 1500
高速道路全て無料。

《嬉しかった事》

- ① 待ち受けてくれるロータリアンが居てくれた。
- ② 高速道出口の方の「ご苦労様でした。」の一言。
- ③ RI2640地区の支援物資が短時間で現地に届けられた事。

《教訓》

長距離運転は初めてだが、速く走って他車を追い抜くことなく、車列を守り淡々と走る事が大事である。まるで人生そのものの様な気がした。